

報道関係者各位

生成 AI で広報業務の負担軽減 プレスリリース生成に特化した生成 AI 「広報 AI」 に関する研究を 日本広報学会 第 7 回研究フォーラムにて発表

業種特化の専門 AI 開発・運営を行う株式会社メタリアル(本社：東京都千代田区、代表取締役：五石 順一)は、2025 年 4 月 6 日(日)に行われた日本広報学会 第 7 回研究フォーラムにて、「AI は“広報の相棒”になれるのか？～自社開発した『広報 AI』の実践と未来～」をテーマに研究発表を行なったことをお知らせします。本研究では、本年 2 月 20 日に発表した、プレスリリースの生成と採点ができる広報領域専門 AI 「広報 AI」 を用いた広報業務の生成 AI 代替可能性について、研究成果を紹介しました。



■研究の背景

当社では、近年、SNS やメディアの多様化により、企業の情報発信の機会が増加する一方で、広報業務の負担も拡大しています。特に、メディア露出につながるプレスリリースの作成は広報の重要な業務でありながら、効果的な発信が難しいという課題を感じていました。自社の広報業務の効率化を図るために、当社の生成 AI 開発技術を用いて、日経やビジネス誌などのメディアが興味を持ち、メディア露出を最大化しやすいプレスリリースの生成およびプレスリリースの採点ができる生成 AI を開発し、広報担当者がより本質的な広報業務に従事するための一助となることを目的に、本研究を開始しました。

■研究手法

- 当社の広報担当者と AI エンジニアから構成されたプロジェクトチームを発足させました。
- 広報 AI に搭載する機能の設計にあたり、プロジェクトメンバーに加え、他社の広報担当者を対象にインターネットによるアンケート調査でプレスリリースに必要な要素の調査を実施しました。
- 調査結果および当社広報担当者の知見をもとに、メディアに興味を持ってもらえるプレスリリースの要素およびプレスリリースの採点項目について決定しました。

■ 本件に対するお問い合わせ

株式会社メタリアル 広報担当: 中田、松本

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3 丁目 7 番 1 号

Email: pr@metareal.jp <https://www.metareal.jp/contact/>



報道関係者各位

■研究結果

・広報 AI には以下の 2 つの機能を搭載し、プレスリリース作成の効率化とメディア露出の最大化を支援する生成 AI として社内で試験運用を開始。広報業務の中から、特にプレスリリースの作成業務を生成 AI で代替する可能性を検討しました。

○機能① 「AI エージェント同士の会話」から生まれるキャッチャーで訴求力のあるタイトル作成、豊かな文章表現を可能にする生成プロセス(プレスリリース生成機能)

「広報 AI」にプレスリリースの要点を入力するだけで、文章の生成を開始します。文章生成プロセスでは、一般的な生成 AI と大きく異なる点として、複数の AI エージェント同士が「このニュースは興味深いと思わない?」「このポイントは今までにないサービスだね」などと会話しながら共感するポイントを抽出し、繰り返し文章を推敲していきます。これにより、一般的な生成 AI では実現できない豊かで魅力的なタイトルや本文を生み出すことが可能になります。

○機能② 業界初*のメディアが興味を持つかを高精度で判定(プレスリリースの採点機能)

「広報 AI」は、メディアの取材傾向データを学習し、業界初*のプレスリリースのスコア化を可能とする独自のメディア掲載判定ロジックを開発しました。これにより、メディアに掲載された記事の特徴を分析し、逆算して質の高いプレスリリースを生成します。

独自の判定ロジックでは、1)話題性や消費者視点、2)データと 3)実績の裏付け、4)導入部分の魅力、5)市場インパクト、6)独自性の 6 つの基準点を設計し、それらのスコアを上回ったものがメディアに掲載される可能性が高いと判断します。この判定は約 72% の精度を実現しています。

*広報業界での「スコア化機能を搭載したプレスリリースの生成 AI サービス」として(2025 年 4 月時点 自社調べ)

■研究成果と今後の展望

本研究で、プレスリリースの生成において、広報 AI は一般的な生成 AI よりも表現力豊かで、メディアが興味を持つような数値やファクトをタイトルに盛り込むなど、広報担当者の思考プロセスを再現したような文章の生成が可能になることがわかりました。

今後は、さらなるプレスリリースの精度向上を図るだけでなく、広報 AI が生成した文章について、ファクトチェックが必要な箇所を明示し、広報担当者がより簡単に、メディアの関心を得やすいプレスリリースを作成できる機能を追加していきます。

また、現在は「新商品・新サービス発表」カテゴリーのプレスリリース作成に対応していますが、今後はその他のカテゴリーへの対応も目指し、機能拡張を進めてまいります。

■ 本件に対するお問い合わせ

株式会社メタリアル 広報担当: 中田、松本

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3 丁目 7 番 1 号

Email: pr@metareal.jp <https://www.metareal.jp/contact/>



報道関係者各位

■日本広報学会 常任理事 田代 順(たしろ じゅん)氏コメント

株式会社メタリアル 広報室の松本和也氏による研究発表は、広報業務の実態に根ざしつつ、生成AIの活用による未来への展望を示した点で、非常に意義深いものでした。広報部門は年々複雑化し、限られたリソースで高度な成果が求められる中、「広報AI」という挑戦的な取り組みは、実務者の共感を呼び起こすものであり、多くの可能性を秘めています。特に印象的だったのは、複数のAIエージェントによる対話を通じて、自然かつ魅力的な文章を生成する点です。これは単なる自動化ではなく、広報の本質に迫る技術的進化といえるでしょう。また、広報実務者へのアンケートに基づいた「掲載されやすい」要素の抽出と採点機能の設計は、広報の経験知とAI技術との融合という観点からも大変興味深く拝見しました。今後、本ツールが広報業界全体に普及し、実務の質と効率を高めるだけでなく、AIと人との協働によって新たな価値創造がなされることを期待しています。広報の未来は、すでに始まっています。

■メタリアル・グループについて

「世界中の人々を場所・時間・言語の制約から解放する」を企業ミッションとし、「対話型AI・機械学習プラットフォーム市場2023」(出典:ITR)の「翻訳市場」において国内市場No.1に位置している。

法務・医薬・金融・化学・IT・機械・電気電子など、2,000分野に対応。顧客ごとの課題解決・未来創造を目的とした完全カスタマイズAI開発サービスを提供している。

AI開発実績: 翻訳AI、四季報AI、製薬会社向けAI、ゲームローカライズAI等

社名: 株式会社メタリアル

URL: <https://www.metareal.jp/>

所在地: 東京都千代田区神田神保町3-7-1 ニューアルクビル

代表者: 代表取締役 五石 順一

設立: 2004年2月

事業内容: 業種特化の専門文書AIの企画・開発・運営

お問合せ先: pr@metareal.jp

【業績影響】株式会社メタリアルにおける業績への影響は軽微です

■ 本件に対するお問い合わせ

株式会社メタリアル 広報担当: 中田、松本

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3丁目7番1号

Email: pr@metareal.jp <https://www.metareal.jp/contact/>

